

# 個人情報「登録良い」7割

## 尼崎・東園田町アンケート

アンケートは今年9月に実施され、東園田町会の会員世帯で暮らし70歳以上の高齢者1084人のうち671人(61.9%)が回答。年齢や世帯構成、避難支援の必要性など9項目を尋ねた。

この中で、災害時の安否確認や避難支援のために、住所や氏名、電話番号などの個人情報を登録しても良いかと聞いたところ、「良い」と答えた人は460人と全体の68.6%を占めた。一方、「登録する必要はない」は120人(17.9%)、「一切登録はしない」は30人(4.5%)だった。

避難支援の必要性に関する質問では、18.6%が「誰かの支援がほしい」、11.8%が「家族の不在時に支援がほしい」とした。最も援助を必要としていたのは一人暮らしの世帯だったという。今年8月、同地区では集中豪雨に伴う浸水被害が出たため、災害に備えるためアンケートを実施。意見や希望も募ったところ、避難所の整備に関する指摘のほか、「妻(夫)が障害者なので支援なしには行動できない」などといった切実な声もあった。

尼崎市東園田町の約2500世帯でつくる自治会組織「東園田町会」が会員世帯の70歳以上を対象にアンケートを実施した結果、災害時の安否確認や避難支援のために個人情報に登録しても良いと答えた人が7割近くを占めた。災害時に被害が集中しやすい高齢者の不安を浮き彫りにした形だ。地域のコミュニティーが崩れつつあるなか、災害時の高齢者支援は各地で課題になっており、町会は緊急避難マップをつくるなど対策を進める。

# 高齢者に広がる不安

災害時の避難

する質問では、18.6%が「誰かの支援がほしい」、11.8%が「家族